

PCT/IEPO 27 APR 2004

特許協力条約

PCT

10/532754

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

RECD 17 JUN 2004

WIPO

PCT

(法第12条、法施行規則第56条)
(PCT36条及びPCT規則70)

出願人又は代理人 の書類記号 10690-SH-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/13989	国際出願日 (日.月.年) 31.10.2003	優先日 (日.月.年) 01.11.2002
国際特許分類 (IPC) Int. C17 B41J13/00		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a 附属書類は全部で _____ ページである。

補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)

第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するデータベースを含む。 (実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- 第II欄 優先権
- 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- 第IV欄 発明の単一性の欠如
- 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- 第VI欄 ある種の引用文献
- 第VII欄 国際出願の不備
- 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 10.02.2004	国際予備審査報告を作成した日 26.05.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 水野 治彦	3B	9254
	電話番号 03-3581-1101 内線 3320		

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

- この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
- PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
 PCT規則12.4にいう国際公開
 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。（法第6条（PCT14条）の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。）

- 出願時の国際出願書類

- 明細書

第 _____	ページ、	出願時に提出されたもの	付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ*、		
第 _____	ページ*、		

- 請求の範囲

第 _____	項、	出願時に提出されたもの	付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	項*、	PCT19条の規定に基づき補正されたもの	
第 _____	項*、		付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	項*、		付けで国際予備審査機関が受理したもの

- 図面

第 _____	ページ/図、	出願時に提出されたもの	付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ/図*、		
第 _____	ページ/図*、		付けで国際予備審査機関が受理したもの

- 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表（具体的に記載すること）		
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること）		

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。（PCT規則70.2(c)）

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表（具体的に記載すること）		
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること）		

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第IV欄 発明の單一性の欠如

1. 請求の範囲の減縮又は追加手数料の納付の求めに対して、出願人は、

- 請求の範囲を減縮した。
- 追加手数料を納付した。
- 追加手数料の納付と共に異議を申立てた。
- 請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかった。

2. 国際予備審査機関は、次の理由により発明の單一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。

3. 国際予備審査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の單一性を次のように判断する。

- 満足する。
- 以下の理由により満足しない。

請求の範囲1に記載された発明は、画像形成装置における従来周知の用紙搬送に係る技術をも含むものであることから、技術的特徴を有する発明であるとは認められない。そして、請求の範囲1に記載された発明が技術的特徴を有するものでないことを踏まえ、請求の範囲2に記載された発明と請求の範囲3及び4に記載された発明とを対比すると、両者は共通する技術的特徴を有するものとは認められない。

4. したがって、国際出願の次の部分について、この報告を作成した。

- すべての部分
- 請求の範囲 _____

に関する部分

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	3, 4	有
	請求の範囲	1, 2	無

進歩性 (I S)	請求の範囲	1 - 4	有
	請求の範囲		無

産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲	1 - 4	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1：JP 8-276627 A (キヤノン株式会社), 1996.10.22
 文献2：日本国実用新案登録出願2-101360 (日本国実用新案出願公開4-5
 8355) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィ
 ルム (セイコーエプソン株式会社), 1992.05.19

請求の範囲1及び2に記載された発明は、国際調査報告で引用した上記文献1或い
 は文献2により新規性を有しない。文献1は、ギヤップローラに当接するよう設けら
 れた第1拍車8A及び排出ローラに当接するよう設けられた第2拍車8B並びに第3
 拍車8Cを有するインクジェット記録装置を開示する。文献2は引き上げローラ17
 aに対向した設けられた複数のローラ18a～18dを有する印字装置を開示する。

請求の範囲3及び4に記載された発明は、文献1及び文献2により進歩性を有しな
 い。文献1における第1拍車8Aの配置に関し、文献2における複数のローラ18a
 ～18bの配置に係る技術を適用することは、当業者であれば容易である。